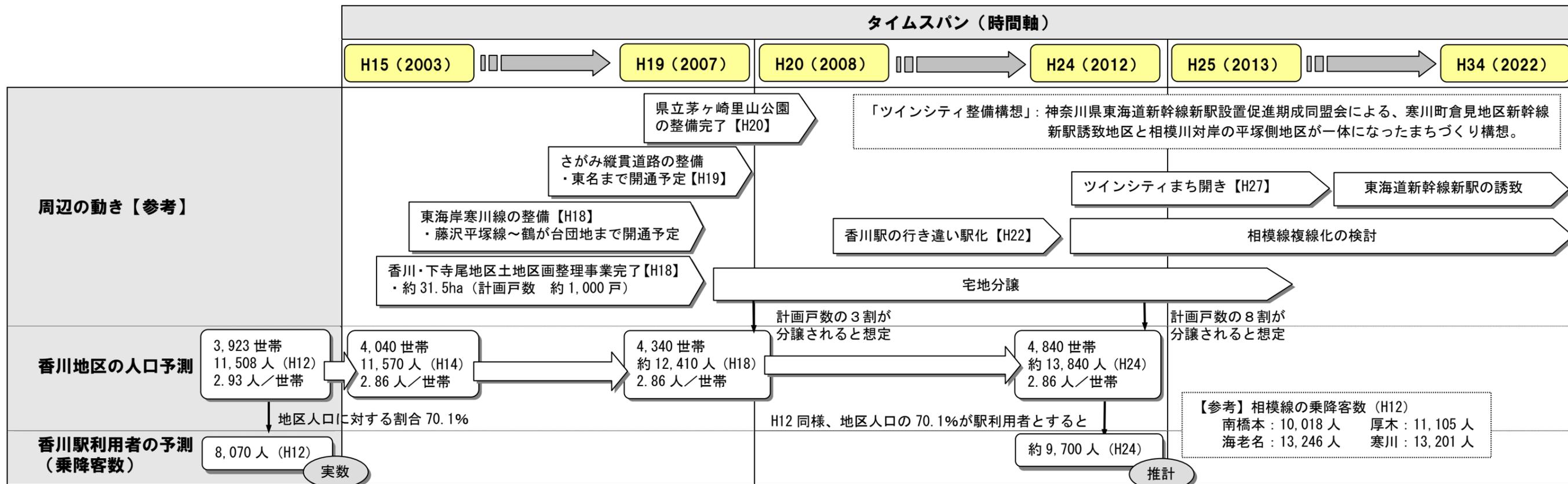


# 5. まちづくりの方針



現時点で予想される香川周辺における開発・整備等の動きを時間軸（短期：5年、中期：10年、長期20年）で整理するとともに、この時間軸を見据えた「まちづくりの方針」を4つの目標ごとに決めました。



まちづくりの目標		まちづくりの方針（■印：次章でさらに整備の方向性を検討する事項、▲印：今後、広域的な計画の中で検討してほしい事項）		
		今すぐにでもやれそうなこと 【短期：5年（～2007）】	できるだけ早くやりたいこと 【中期：10年（～2012）】	じっくり時間をかけて取り組むこと 【長期：20年（～2022）】
目標1 境豊かな自然あふれる生活環境を整備をめざします。	◆地域の自然資源を保全・活用しよう	□良好な緑と自然の保存指定 →地権者の同意を得ながら、香川に残る良好な樹林や樹木などの保存指定を行う。		▲（仮称）樹木センターの検討 →香川地区に限らず、全市的な取り組みとして、転居や増築時に不要となった樹木を一時的に移植保管し、必要時に利用できる「緑の銀行」を検討する。
	◆富士・丹沢の良好な眺望を守ろう	□条例化による高層建築の制限 →富士山や丹沢方面への良好な眺望を維持するため、高層建築の制限を目的とした条例化を検討する。		
	◆小出川の自然を残そう	□小出川のあり方の検討 →隣接する寒川町の住民とともに、小出川のあり方について考える。また湿地帯の草刈などを行う。		

まちづくりの目標		まちづくりの方針（■印：次章でさらに整備の方向性を検討する事項、▲印：今後、広域的な計画の中で検討してほしい事項）		
		今すぐにでもやれそうなこと 【短期：5年（～2007）】	できるだけ早くやりたいこと 【中期：10年（～2012）】	じっくり時間をかけて取り組むこと 【長期：20年（～2022）】
目標2	安全で快適な人と車のための道路環境の整備を めざします。	◆安全で快適な歩行環境をつくろう	□現状の安全確認調査の実施 →実際にまちを歩き、子どもたちの通行に危険と思われる箇所を現地で確かめる。（※別添、グループ調査レポート参照）	□通学路における通行危険箇所の解消 →安全確認調査に基づき、カーブミラーの新設、街路灯の増設・強化、車の離合箇所確保などにより、通行危険箇所の解消に努める。
		◆幹線道路の交通渋滞を解消するための工夫をしよう	□南北主要幹線道路の早期整備 →南北の2本の幹線道路（東海岸寒川線・中海岸寒川線）の早期整備を行う。 ■東西生活幹線道路の拡幅・整備 →南北幹線道路に接続する地区の東西横断幹線の拡幅・整備を行う。 ■生活幹線道路における一方通行規制・一時待避所の検討 →渋滞解消と歩行者の安全確保のため、生活幹線道路の一方通行規制（時間規制）や一時待避所の検討を行う。	■南北生活幹線道路（駅前）の整備 →相模線の行き違い駅화에あわせ、南北生活幹線道路（駅前）の拡幅・整備を行う。
		◆香川らしい魅力ある散策道をつくろう	■神社・仏閣や公園・広場を結ぶ散策ネットワークの指定 →地区内の神社や仏閣、公園・広場などを結ぶ散策ネットワークを位置づける。 ■駒寄川沿いの並木道の整備 →相模川左岸用水路より小出川までの両岸に桜並木の美しい歩道を整備する。途中、案内板や休憩施設を整備する。	■水道道・勤重郎堀を生かした散歩道の整備 →小出川～第1・2公園、玄珊寺～閑居山間の水道道や勤重郎堀を生かした散歩道整備を行う。
目標3	人がふれあいコミュニティを育む都市環境の整備をめざします。	◆将来を見込んだ、地域にふさわしい駅前づくりを考えよう	□放置自転車等保管場所の移転検討 →駅前にある放置自転車等保管場所の移転についての検討を行う。	□香川駅前の駐輪場整備 →香川駅利用者の増加に伴い、不足が予想される駐輪場の増設を行う。 ■駅前広場の整備 →相模線の行き違い駅화에あわせ、香川駅前広場及び隣接街区の整備を行う。
		◆人にやさしく、人を育てる環境を整えよう	□小学校空き教室のコミュニティ施設としての利用検討 →少子化に伴う小学校の空き教室を有効に活用するため、地域のためのコミュニティ施設等としての利用可能性を検討する。	▲現香川自治会館一帯における文教地区の新設 →現香川自治会館に隣接する南、西側（スリーエフまで）の土地を確保し、将来の就学生徒の増加を予測し、香川中学校を新設する。また、香川公園やコミュニティセンターを新設し、文教地区とする。
		◆子どもやお年寄りが安心して使える公園を守ろう	□青少年広場の現状維持 →子どもからお年寄りまで広く利用されている青少年広場を現状の形で維持していくよう要望していく。	▲H12.1 現在市人口に対する小中学生の割合 小学生 5.7% 中学生 3.1%
目標4	住民と行政が知恵を結集し、行動する、参加のまちづくりの実践を めざします。	◆みんなで参加し、できることから確実にまちづくりをすすめていこう	□「緑と自然を守る会」の発足 →茅ヶ崎市と香川住民が一体となって貴重な緑と自然を維持・管理・促進するための会を発足する。 □「まちづくり検討会」の継続 →まちづくりを展開していくにあたって、当「まちづくり検討会」を何らかの形で継承・継続する。	▲H14→H24 ・小学生 約130人/6年 ≒22人 ・中学生 約70人/3年 ≒23人